

## いま災害がおきたら… **在宅避難** も選択肢に!

### 日頃の備えが、自分や家族を守ります



「洪水」「大雨浸水」「高潮」ハザードマップを日頃からチェックしておきましょう!



災害が起きた際の避難は、小・中学校等への避難のほか、安全な親戚・知人宅への避難や、自宅が安全であれば「在宅避難」も選択肢として検討しておくことが大切です。慣れた環境での暮らしはストレスが減り、心身の健康を保ちやすくなるというメリットがあります。日頃から災害について考え、家庭での備えをしておきましょう 問 防災課災害対策係 ☎3647-9587、FAX3647-8440

掲載している情報は8月23日時点のものです。最新の情報はお問い合わせください。

### 災害発生

避難所に行く? 行かない?

- 自宅(親戚宅)が無事・安全
- 食料などの備えが十分 など

- 家屋倒壊の恐れがある
- 火災が迫っている
- 水害の場合は浸水深より居室が低い など

在宅避難または親戚・知人宅へ避難

避難所へ

2面につづく

### 主な日常備蓄リスト

「日常備蓄」とは普段使っているものを常に少し多めに備えることです。

**飲料水**  
(1人1日3ℓ)  
**食品**

最低3日分。できれば1週間分の備えがあれば安心。

**生活用品**

救急箱・トイレトペーパー・ウェットティッシュ・携帯トイレ・ビニール袋など  
**★感染症対策として、マスク・手指消毒液・体温計・除菌シートなど**  
 ※乳幼児や高齢者などがある家庭では、それぞれに応じたものを用意

**その他**

カセットコンロとボンベ・懐中電灯・携帯ラジオ・モバイルバッテリーなど

備蓄品は在宅時だけではなく、避難所等、自宅外への避難となった際も、可能な限り携行してください!



お願い 皆様の命と暮らしを守るため、引き続き感染防止策を徹底しましょう。